

高温に強い米づくりに向けた技術対策を励行しましょう！

宮城県米づくり推進大河原地方本部
大河原農業改良普及センター
令和6年4月16日

令和5年は、登熟期間中の高温を主因とする玄米品質の低下が全県的に見られました。今年には高温に遭遇しにくい管理、高温に強い管理を徹底し、高品質米に仕上げましょう。

《高温に強い米づくり4つのポイント》

1 土づくりの励行

- ✓深耕による十分な作土深の確保(15cm 目安)
- ✓有機物施用による地力の維持

2 出穂期を遅らせる田植え・播種スケジュールの設定、直播栽培の実施

- ✓晩期栽培(5月中旬以降田植え)の実施と、田植え日から逆算した播種作業

苗の種類と播種日の目安

苗の種類 (葉齢)	乾燥籾 (g)	催芽籾 (g)	田植日	田植日から逆算した播種日の目安	
				加温出芽	無加温出芽
稚苗 (2.1-2.5 葉)	160	200	5月20日	5月4日(田植16日前頃)	4月29日(田植21日前頃)
	~	~	5月25日	5月11日(田植14日前頃)	5月6日(田植19日前頃)
	180	250	5月30日	5月18日(田植12日前頃)	5月13日(田植17日前頃)
中苗 (3.5-4.0 葉)	100	125	5月20日	4月24日(田植26日前頃)	4月19日(田植31日前頃)
	~	~	5月25日	5月1日 (田植24日前頃)	4月26日(田植29日前頃)
	120	160	5月30日	5月8日(田植22日前頃)	5月3日(田植27日前頃)

※5月に入ると気温が上がります。ハウス内の温度管理と苗の生育状態に注意しましょう。

- ✓栽培環境や経営状況に合わせた、乾田直播・湛水直播の実施

3 籾数の適正化と登熟向上を実現する水管理・肥培管理

【水管理】

過剰な茎数・穂数の抑制

- ✓分げつ期が温暖なときは

深水管理

- ✓有効茎数を確保したら

中干し

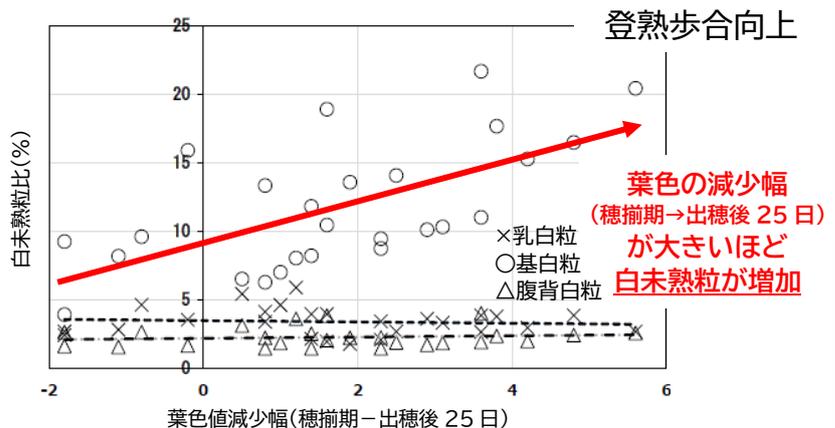
- ✓出穂後は保水管理・飽水管理

- ✓用水を確保できる場合はかけ流し

- ✓出穂後30日は水を確保

【肥培管理】

- ✓葉色診断に基づく減数分裂期追肥で葉色維持、



4 適期刈取りで最後の仕上げ

- ✓出穂後の気温が高い場合、登熟が早まり、刈取適期も早まるので注意。
- ✓刈り遅れは胴割粒や茶米の増加、光沢の低下など品質低下につながります。

【出穂後の積算気温による刈取適期の目安】

- ✓ひとめぼれ：早限 940℃～晩限 1,100℃
- ✓ササニシキ：早限 930℃～晩限 1,150℃
- ✓つや姫：早限 1,000℃～晩限 1,200℃